



私は 2011 年 8 月 26 日から 8 月 27 日まで日本細菌学会北九州支部総会に参加いたしました。会議の行われた 場所は門司港ホテルです。門司港ホテルは門司港駅の近くであり、歩いて 5 分ほどのところ です。門司港は美しい町で、かつて貿易港として繁栄し、多くの歴史的建造物が残っており、関門海峡を望む雄大な景色に感動しました。

細菌学会では様々な医学レポートが発表されました。

《温熱（37℃-45℃）における真菌感染への影響（福岡歯大，感染生物学）》、《抗菌性ペプチド抵抗性における *Streptococcus mutans* 二成分制御系因子の役割（鹿児島大学医歯学総合研究科）》など私にとっては大変興味深いレポートがありました。細菌学会の医学レポートの中で、

私が所属する教室の先生が発表したのは《臨床検体由来 Unclassified 16S rRNA 遺伝子の解析》で私も 16S rRNA 遺伝子の解析を行っています。私の研究は「尿道炎の起炎菌の推定」がテーマとなっています。起炎菌の 16S rRNA 遺伝子は様々なものがありますが、今年は研究の成果をこの会議で発表できればと思っています。

